

「中心市街地活性化基本計画」ロマンロード活性化案

この提案事項は市・中心市街地活性化基本計画を策定するにあたり、まち研5グループそれぞれがまとめた活性化案です。

活性化案①「歴史の小径の街灯景観（ストリートファニチャー）整備」

主体者：行政

協力者：歴史の小径沿道の住民、まち研、等

概要：景観の統一感の醸成と夜間防犯の役割

全線にわたる石畳の道路整備は経済的に困難であることを踏まえ、グレードを下げた道路整備や街灯などを整備することによって統一感が生まれ、昼夜にわたって人の流れができるきっかけとなる。

また、歴史の小径の景観に変化が起こることによって沿道住民の意識が変わるきっかけになることを期待する。

活性化案②「旧二業見番組合事務所を有効活用した歴史の小径の核づくり」

主体者：行政

協力者：本町2丁目東区民、まち研、

概要：現時点で歴史の小径の核として武鷹館周辺や旧二業見番周辺が考えられるが、歴史の小径の核としての機能が弱い。見番の修復を機に、集会機能のほかに、展示機能、イベント機能を有するコミュニティスペースにすることにより、幅広く活用できるようにする。

歴史の小径上に核ができることにより求心力が高まるとともに、回遊性が生まれると考える。

活性化案③「館林駅舎の利活用による観光案内機能・物産機能の強化」

主体者：行政

協力者：市民、まち研、等

概要：館林駅が橋上になることにより、関東駅100選に認定されている駅舎を有効活用する。

様々な人々が交流する核となる駅に観光案内機能と物産機能を有することによって、館林を効果的に案内・PRできる。

活性化案④「まちなかの建物（ハード機能）を管理運営する

NPO（ソフト機能）の創設」

主体者：市民

協力者：まち研、商店街、行政、企業、等

概要：まちづくりの機運が高まってきたが、まち研やその他の団体との横のつながりが希薄である。そのことを踏まえて、新たに既存の建物の管理・運営を目的としたNPOを設立して、各団体の柵にとらわれないまちづくりを実践する。